観音寺市国民健康保険
第２期データヘルス計画
中間評価
（概要版）

令和３年３月

観音寺市

目　　次

観音寺市第２期データヘルス計画　中間評価

第1章　計画の基本的な考え方
1　背景・目的
健康・医療情報を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すとともに、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこと。

2　中間評価の主旨
事業進捗状況を確認し、後期計画事業の方向性を明らかにすること。

3　中間評価の方法
「ベースライン判定」「目標値判定」「事業判定」をそれぞれ行い、事業継続等を決定する。

第2章　中間評価
1　中間評価の総括
おおむねすべての事業で目標達成または事業効果があると判断した。

１)評価指標の「改善」または「変わらない」となった項目
特定健診受診率については、目標達成とはなっていないが、次第に上昇している。重症化対策（糖尿病性腎症、生活習慣病重症化予防等）については、おおむね目標を達成（予定）である。

２)評価指標の「悪化」となった項目
なし

2　判明した現状と課題
なし

別表　中間評価一覧

第3章　今後の取組に向けて
1　目標実現に向けた取組み
引き続き各事業の継続に努める。

作成例）基本は、自保険者で策定のデータヘルス計画事業毎に作成してください。今後、第３次計画の策定に向け、以下のような区分毎作成できるようご検討ください。

○第2期データヘルス計画中間評価一覧

		事業名	ベースライン（H29年度）	目標値（中間）	ベースライン判定	目標値判定	事業判定	種別	目標値（R5年度）
特定健診	a 特定健診未受診者対策	特定健康診査受診率向上対策事業	受診率：39%	60%	A 改善している	C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある	まあ、うまくいってい	継続	60%
	d 特定健診継続受診対策				A 改善している	C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある	まあ、うまくいってい	継続	
	f 特定健診40歳前勧奨	スマホでドック事業	受診率：7.1%	20%	B 変わらない	D 目標の達成は困難で、効果があるとは言えない	E わからない	廃止	-
	c 受診勧奨判定値を超えている者への対策	健診異常値放置者受診勧奨KKDA受診勧奨事業	相談実施率：7.7%	20%	B 変わらない	C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある	C あまりうまくいっ	継続	20%
	区分評価				A 改善している	C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある	まあ、うまくいってい	継続	
発症予防	e 生活習慣病の１次予防に重点を置いた取組み(早期介入保健指導事業)								
	b 特定保健指導未利用者対策	特定保健指導利用率向上対策事業	利用率：22.6%	60%	A 改善している	C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある	あまりうまくいっていない		60%
	区分評価				A 改善している	C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある	あまりうまくいっていい	継続	
重症化	h 糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病性腎症重症化予防事業	生活習慣改善率：44%	70%	A 改善している	A すでに目標を達成	まあ、うまくいってい	継続	70%
	g 生活習慣病重症化予防における保健指導	CKD保健指導事業	指導実施率：19.6%	30%	B 変わらない	B 目標は達成できていないが、達成の可能性が高い	まあ、うまくいってい	継続	30%
	区分評価				B 変わらない	C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある	まあ、うまくいってい	継続	
健康づくり	i 健康教育(食生活)								
	i 健康教育(運動)								
	i 健康教育(その他)	高血圧性疾患重症化予防事業	参加者生活習慣改善率：43.3%	50%	A 改善している	A すでに目標を達成	あまりうまくいっていい	継続	50%
	j 健康相談								
	k-③ 保健指導(禁煙支援)								
	k-④ 保健指導(その他)								
	l 歯科に係る保健事業								
	区分評価				A 改善している	A すでに目標を達成	あまりうまくいっていい	継続	
適正化	k-① 保健指導(重複頻回受診)								
	k-② 保健指導(重複多剤服薬)								
	区分評価								
地域	m 包括ケアシステムを推進する取組み								
	n 健康づくりを推進する地域活動								
	区分評価								
	がん対策								
	糖尿病対策								
	循環器疾患対策								
	運動器疾患対策								
	歯科保健								

第２期データヘルス計画の中間評価

保険者名（ 観音寺市 ）

	実施状況	具体的内容	自己評価結果	評価の理由
１-1 主担当部局を超えた庁内検討体制の構築 【市町村国保のみ】	☑ 構築した ☐ 頻繁に意見交換した ☑ 要所で意見交換した ☐ あまり意見交換しなかった ☐ 構築しなかった	連携部局 ☑ 保険担当部局 ☑ 保健衛生部局 ☐ 介護部局 ☐ 企画部局 ☐ その他 （ ） 具体的な意見交換内容	☐ とても良くできた ☑ 良くできた ☐ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった	
１-2 庁外関係者との連携	☑ 連携した ☐ 頻繁に意見交換した ☑ 要所で意見交換した ☐ あまり意見交換しなかった ☐ 連携しなかった	連携先 ☐ 医師会 ☐ 歯科医師会 ☐ 薬剤師会 ☐ 住民代表 ☑ 都道府県・保健所 ☑ 国保連合会 ☐ 他の医療保険者 ☐ その他 （ ） 【広域連合の場合】 ☐ 構成市町村 具体的な連携内容 中間評価の方法等について助言してもらった。	☐ とても良くできた ☑ 良くできた ☐ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった	
１-3 計画策定の外部委託	☐ 外部委託した ☐ 頻繁に意見交換した ☐ 要所で意見交換した ☐ あまり意見交換しなかった ☑ 外部委託しなかった	具体的な委託内容 ☐ データ分析 ☐ 計画素案の作成 ☐ その他 （ ）	☐ 委託内容の質の確保ができた ☐ 仕様書を明確に提示できた ☐ 保険者としての考え方を提示できた ☐ 保険者による修正が反映できた ☐ モニタリングを実施した ☐ その他 （ ）	
１-4 計画について協議する会議体の設定	☐ 新規会議体を設置した ☐ 既存の会議体を活用した （名称： ） ☑ 設定しなかった	参加者 ☐ 医師会 ☐ 歯科医師会 ☐ 薬剤師会 ☐ 住民代表 ☐ 都道府県・保健所 ☐ 国保連合会 ☐ その他 （ ） 具体的な協議内容 ☐ 計画についての講評 ☐ 進捗管理 ☐ 計画の評価 その他 （ ）	☐ とても良くできた ☐ 良くできた ☐ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった	
１-5 外部の支援・助言	☑ 支援を受けた ☐ 支援内容を計画に反映させた ☐ 支援内容を計画に反映させなかった ☐ 支援を受けなかった	受けた支援先 ☐ 支援・評価委員会 ☑ 国保連合会 ☑ 都道府県・保健所 ☐ その他 （ ） 受けた支援の内容 中間評価の様式の提供等	☐ 十分に支援を受けることができた ☑ ある程度支援を受けることができた ☐ 十分に支援を受けることができなかった	

	実施状況	具体的内容	自己評価結果	評価の理由
2-1 データ分析	☑ 各種データで策定時との比較を行った ☑ KDBシステムを活用して分析した ☐ 他のデータソースを活用して分析した ☐ 各種データ分析を行わなかった	分析内容 医療費、受診率等 分析の観点 ☑ 性・年齢別の比較　☑ 経年比較 ☑ 保険者内の地区別比較　☐ 同規模保険者との比較 ☐ 都道府県平均との比較　☐ 全国平均との比較	☐ とても良くできた ☑ 良くできた ☐ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった 【不足している点】	
2-2 質的情報分析 ・地域資源の 把握	☐ 質的情報分析・地域資源の把握を行った ☐ 質的情報の分析を行った ☐ 地域資源の把握を行った ☑ 行わなかった	分析内容	☐ とても良くできた ☐ 良くできた ☐ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった	
2-3 既存事業の 振返り	☑ 既存事業の振返りを行った ☑ 自部局の事業のみの振返りを行った ☐ 他部局の事業も含めた振返りを行った ☐ 既存事業の振返りは実施しなかった	振返った内容 ☐ 事業の目的・目標　☑ 事業効果 ☑ 事業内容　☑ 事業目標の達成・未達の要因 ☑ 事業実施体制　☐ その他　（　　）	☐ とても良くできた ☑ 良くできた ☐ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった	
2-4 課題抽出	☑ 計画に全ての課題に対応する事業を記載し実施した 残った課題と該当事業内容を記入。 ☐ 抽出した課題に対応する事業として計画には記載せず実施しているものがあった 該当事業の評価を選択してください。 ☐ 課題として抽出したが、事業化しなかったものがあった 該当事業の評価を選択してください。	計画に全ての課題に対応する事業実施を行った 課題の内容：・未受診者への勧奨や継続受診への体制構築 ・早期介入による医療費適正化 ・自立した管理ができるような体制整備 事業概要：・特定健診受診率向上対策事業 ・生活習慣病重症化予防事業 ・糖尿病性腎症重症化予防事業 計画に記載せず実施事業の課題と理由 課題の内容　実施事業概要 事業化を見送った課題と主な理由 課題の内容　見送った理由	☐ とても良くできた ☐ 良くできた ☑ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった ☐ とても良くできた ☐ 良くできた ☐ あまり良くできなかった ☐ 良くできなかった ☐ 他事業等により課題解決できた ☐ 他事業等により課題解決の見込みあり ☐ 課題解決に向け事業化要検討 ☐ 課題解決に向け事業化が必要	

「5」第2期計画後期に向けての見直し	5-1 見直しが必要とされる項目	☑ 現状分析 （ ☑ データ分析 □ 質的情報の分析 □ 地域資源・社会環境の把握） （具体的内容 ） □ 課題抽出（具体的内容 ） □ 事業選択（具体的内容 別紙により記述 ） □ 評価計画（具体的内容 ） □ 目的・目標設定（具体的内容 ） □ 事業内容 （具体的内容 別紙により記述 ） □ その他 （具体的内容 ）
	5-2 第2期計画に追加した方が良い分析	分析内容 □ 被保険者の特性 □ 健診結果 □ 医療費データ □ 介護関連データ □ 質問票 □ その他 （ ） 分析の観点 □ 性・年齢別の比較 □ 経年比較 □ 保険者内の地区別比較 □ 同規模保険者との比較 □ 都道府県平均との比較 □ 全国平均との比較
	5-3 第2期計画に新規追加した方が良い事業	具体的な事業内容 □ 広く加入者に対して行う予防・健康づくりに関する事業 □ 若年層（40歳未満）に関する健診 □ オーラルフレイル対策等、歯科に係る保健事業（歯科健（検）診も含む） □ 特定の疾患や対象者を限定して行う集団への健康教室等 □ 非肥満の者への保健指導 □ 治療中の者に対する生活習慣病等の重症化予防事業・保健指導 □ 地域包括ケア推進に係る取組 □ 特定健診実施率向上に関する事業 □ 特定健診以外のがん検診やその他健（検）診 □ 特定保健指導実施率向上に関する事業 □ 生活習慣病予備群（特定保健指導の対象未満）に対する保健指導 □ 要治療者・治療中断者への受診勧奨事業 □ 医療費適正化に向けた取組（ジェネリック対策・重複頻回受診対策） □ その他 （ ）

【参考】

※目的・目標の種類について

指標の種類	個別保健事業の目標の場合	データヘルス計画の目的・目標の場合
ストラクチャー （計画立案体制・実施構成・評価体制）	保健事業を実施するためのしくみや実施体制のこと。 事業を実施するために十分な人員や予算が確保できたか、事業を実施するための関係者との連携ができたか、など。	計画の目的・目標を達成するためのしくみや体制のこと。 計画を策定するために十分な人員や予算が確保できたか、計画策定の関係者との連携ができたか、など。
プロセス （保健事業の実施過程）	保健事業の目的や目標の達成に向けた過程（手順）のこと。 保健事業を実施する上での準備状況、実際の保健事業の進め方・内容、保健事業の事後フォローの実施方法が適切であったか、など。	計画策定手順のこと。 健診データ、レセプト、その他の統計資料、日頃の活動の中で収集した質的情報等のデータに基づいて現状分析したか、現状分析を踏まえたうえで、課題抽出、事業選択ができたか、など。
アウトプット （保健事業の実施状況・実施量）	事業実施量に関すること。 勧奨ハガキ配布数、回数や参加者数、など。	計画に記載した事業の実施状況に関すること。 重症化予防事業の実施の有無、など。
アウトカム （成果）	事業による成果のこと。 特定健診の受診率や特定保健指導の利用率が何ポイント向上したか、新規人工透析導入者数が何%（何ポイント）減少したか、など。	計画を実行することにより実現を目指すこと。 健康寿命が何年延長したか、など。

第2期データヘルス計画中間評価に際し抽出した課題（主なもの5つ）と対応事業

	※抽出した課題			事業成果と後期計画への改善等				
	具体的内容	根拠データ等		対応事業　→事業区分：（特定健診受診率向上対策事業）（既存・新規）			目標の達成状況	達成・未達の理由と改善事項等
		策定時	中間評価時	事業内容	目標値（達成確認）			
					策定時	中間評価時		
課題①	健診未受診者は、受診者に比べ医療費が5倍となっている。また、40歳代の約26%が生活習慣病対象者となっており、若い世代や、通院中で未受診の者への受診勧奨や、継続受診につながる支援体制の構築が必要である。	特定健診受診率：27.8%	特定健診受診率：43.3%	①節目年齢の自己負担金無料化 ②継続受診者、新規受診者を増やすことを目的とした受診勧奨 ③医師会と連携し、通院中の方への受診勧奨または情報提供依頼 ④住民へ地区状況を説明し、健康意識向上への啓発活動	特定健診受診率：60%	特定健診受診率：60%	達成　一部達成　未達	受診勧奨・情報提供事業等を継続実施しているが、若い世代（40～50歳代）の受診率は低迷しており、受診しやすい健診体制の検討が必要である。
	具体的内容	根拠データ等		対応事業　→事業区分：（特定保健指導利用率向上対策事業）（既存・新規）			目標の達成状況	達成・未達の理由と改善事項等
		策定時	中間評価時	事業内容	目標値（達成確認）			
					策定時	中間評価時		
課題②	特定健診受診者のうち約1割が対象者となっているが、そのうちの2～3割のかたの利用となっており、未利用者の生活習慣病重症化の危険性があり、指導を受けやすい体制整備が必要である。	特定保健指導利用率：16.1%	特定保健指導利用率：19.2%	①未利用者へ電話・訪問による個別利用勧奨 ②結果説明時に利用開始となるような委託機関との連携体制整備	特定保健指導利用率：60%	特定保健指導利用率：60%	達成　一部達成　未達	未利用者への勧奨を実施しているが、継続対象者にとってマンネリ化になっている要因も見受けられる。対象者が指導を受けやすい指導内容や体制の整備が必要である。
	具体的内容	根拠データ等		対応事業　→事業区分：（糖尿病性腎症重症化予防事業）（既存・新規）			目標の達成状況	達成・未達の理由と改善事項等
		策定時	中間評価時	事業内容	目標値（達成確認）			
					策定時	中間評価時		
課題③	本市の高額医療費の上位を占める人工透析の約6割が糖尿尿に罹患しており、人工透析に移行しないよう、糖尿病の重症化予防・糖尿病性腎症の重症化予防が重要であり、自立した管理ができるような支援体制の整備が必要である。	指導完了者の糖尿病性腎症における病期進行者：0人	指導完了者の糖尿病性腎症における病期進行者：1人	糖尿病性腎症2期・3期に該当し、今まで指導を実施していない者を対象とし、医療機関へ委託し指導を実施。 指導期間は概ね12か月間とし、専門職による食事、運動、服薬指導等を行い、自己管理ができる体制を整備し人工透析への移行を予防または遅延していく。	生活習慣改善率：70%	生活習慣改善率：70%	達成　一部達成　未達	指導実施後のフォロー体制ができておらず、また、評価指標の検討も必要である。指導終了後もかかりつけ医の支援を受けながら自己管理ができ、透析への移行が防げるような体制整備が必要である。
	具体的内容	根拠データ等		対応事業　→事業区分：（慢性腎臓病受診勧奨、保健指導事業）（既存・新規）			目標の達成状況	達成・未達の理由と改善事項等
		策定時	中間評価時	事業内容	目標値（達成確認）			
					策定時	中間評価時		
課題④	慢性腎不全にかかる医療費は糖尿病と並び2位となっており、年々増加傾向にある。自覚症状もないため受診や保健指導につながりにくく、異常値となっても放置されている者が多く、また、専門医につながる割合も低い状況にある。重症化予防のための体制整備が必要である。	医療機関受診率：67.4% 保健指導実施率：34.6%	医療機関受診率：63.0% 保健指導実施率：19.6%	特定健診結果より、受診勧奨または保健指導対象者に個人通知を送付し勧奨を行っているが、特に保健指導実施率が低い状況となっており、勧奨方法を検討し実施していく。	医療機関受診率：50% 保健指導実施率：50%	医療機関受診率：50% 保健指導実施率：50%	達成　一部達成　未達	CKD講演会を実施し、慢性腎臓病に関する啓発を行っているが、重症化予防のためにはさらなる啓発が必要である。また、受診後指導後の改善率についても、翌年度に健診を受診する者が少なく評価ができていないため、継続受診への取り組みが必要である。
	具体的内容	根拠データ等		対応事業　→事業区分：（　）（既存・新規）			目標の達成状況	達成・未達の理由と改善事項等
		策定時	中間評価時	事業内容	目標値（達成確認）			
					策定時	中間評価時		
課題⑤							達成　一部達成　未達	

※抽出した課題は計画に記載したものだけではなく、実施を検討したが事業に結びつかなかったものも含む（設定事業のない場合、事業内容にその旨記載してください）

第2期データヘルス計画後期計画に向けて